

寧夏南部山区の生態建設と持続可能な発展

保母 武彦

1. 今世紀の地球的命題「持続可能な発展」

世界と中国の資源・環境問題

「持続可能な発展」命題の意義

2. 「環境の世紀」における寧夏南部山区

寧夏南部山区の役割・・・人口扶養、食料、（将来の）森林地帯

寧夏南部山区における生態建設の位置と意義

3. 「持続可能な発展」と寧夏南部山区の基本課題

——「持続可能な発展」に、南部山区はどう向き合うべきか——

寧夏南部山区の将来像、在り方

1. 「真の豊かさ」・・・物質的、精神的・・・固原市の温かい人間性

市場化・競争社会の先を読む

2. アジア型・・・自然との共生、相互扶助社会、「農村共同体」

3. 経済発展と環境・資源・エネルギー・・・「循環型農業」

貧困を再生産する「欠発達地域」の不利条件（水、表土流出など）の克服

貧困克服、経済発展の「枠組み」としての資源・環境の保全

4. 寧夏南部山区における「持続可能な発展」のために

発展方式・・・内発的発展

目的、方法、主体

「地域資源活用型産業」の育成、高付加価値化、ブランド化・・・加工、流通

地域条件を逆手に

市場経済システムの中では「一村一品」でなく「一村多品」生産を

「寧夏農業・農村研究所」（仮称）、農業試験場、農業技術・市場開拓指導員

環境の修復と再生・・・土地条件の改善、表土流出防止・・・退耕還林・還草

環境負荷を極小にした産業と生活

・水資源・・・再生水利用の拡大

・エネルギー・・・メタンガス、太陽光

・廃棄物処理・・・リサイクル、リユース

所得、教育、医療・福祉の都市・農村間格差の解消

長期的視野で重視すべきは教育、人材育成

「新農村建設」・・・水、交通、生活基盤の抜本改善